



# かながわの交通

2012  
6

交通安全年間スローガン一般部門(佳作:全日本交通安全協会会長賞)  
運転者(同乗者を含む)に対するもの


## 安全は 目配り気配り 思いやり



白バイによる模範走行

第43回二輪車安全運転神奈川県大会

**ハンドルキーパー運動推進中!**



**飲酒運転根絶!!**  
今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(5月末現在)

◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成24年		14,568	58	17,267	県人口	9,069,694	4,545,782	4,523,912
平成23年		15,315	66	18,162	免許人口	5,527,509	3,221,754	2,305,755
増減数		-747	-8	-895	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人
増減率		-4.9	-12.1	-4.9				

(県人口は平成24年5月1日、免許人口は平成24年4月末現在)

二輪車交通事故防止及び  
暴走族追放強化月間



期 間

6月1日(金)～6月30日(土)

趣 旨

神奈川県交通安全対策協議会の主催により、多発する二輪車の交通事故防止と二輪運転者の交通安全意識の向上を図るとともに、暴走族についても、その追放気運の醸成を図るため、県民総ぐるみの運動を展開します。

スローガン

- 運転に ゆとり やさしさ 思いやり
- 暴走は しない させない ゆるさない!

重 点

- 1 二輪車の交通事故防止
- 2 暴走族の追放

交通安全協会の主な推進事項

- 二輪車・暴走族の無謀運転追放のキャンペーンなどを実施し、広報啓発活動を推進します。
- 二輪車安全運転講習会、暴走族加入防止教室などの交通安全教育の場への積極的参加を呼びかけ、支援活動を行います。

優良二輪車安全運転特別指導員  
表彰の伝達

永年にわたり二輪車安全運転講習会、研修会、街頭指導等に参加し、二輪車の安全運転及び交通事故防止に貢献された二輪車安全運転特別指導員等に対する全日本交通安全協会からの表彰の伝達式が二輪車大会に先立ち行われました。小川和夫さん(写真左)は昭和63年から、大坂谷寛さん(写真右)は平成4年からそれぞれ指導員資格を取得して、法定原付講習のレギュラー指導員として活動しているほか、グッドライダーミーティング、二輪車特別講習の指導員や二輪車安全運転大会の審判員として二輪車運転者の交通安全技術の向上、安全マインドの形成に貢献しています。



第43回二輪車安全運転神奈川県大会実施結果



県交通安全協会、県二輪車安全運転推進委員会、県警察主催、県、神奈川新聞社、二輪車普及協会等後援の第43回二輪車安全運転競技大会は5月26日(土)午前9時00分から神奈川自動車運転免許試験場で開催されました。

大会はA、B、C、女性の4クラスに分かれ、昨年より多い66名の選手が、踏切、横断歩道など5地点にチェックポイントを設定したコースで行う法規走行、コーナリング(曲路走行)、ブレーキング(制動)など7種目の課題を設定したコースで行う技能走行について安全運転を競いました。競技終了後は、県警白バイ隊員、二輪車安全運転推進委員会特別指導員の模範走行・指導が行われ、参加者から、「あこがれの白バイと走れて良かった。」、「運転の癖を見直すことができ、勉強になった。」などの声が聞かれました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

Aクラス

(50CC以上400CC未満)

- ① 小倉 剛
- ② 山中正彦
- ③ 佐藤正章

Bクラス

(400CC以上)

- ① 杉山盛二
- ② 石井孝幸
- ③ 川島貴仁

Cクラス

(原付50CC以上、20歳未満)

- ① 細貝竜二
- ② 村田悠司

女性クラス

(50CC未満)

- ① 北小路結花



上位入賞者の中から、8月4・5の両日に三重県鈴鹿市で開催される全国大会へ出場する選手を選考します。





タイムマシーンをおげたい

21

警察官から見た交通死亡事故の回顧録

不幸の連鎖

「行つてきます」と、いつものようにバイクで出勤した青年。

僅か20分後に脇道から国道に右折進入しようとした軽貨物と衝突、バイクの速度が早かったこともあって、頸椎骨折により即死。

事故の報を聞き

駆けつけた家族

遺体に大きな損傷も出血もなく、顔色もまだ生前と変わらない息子が、既に死亡したのだという事実を受け入れることが出来ず。二度と口を開くことのない息子の傍らで、ただ呆然と立ち尽くす父親。時に泣き叫ぶ母親。

軽貨物の運転手

被害者の青年と同年。遺体の傍らで、涙と共に、床に頭を擦り付けて土下座して詫びる姿。

被害者の弟

長男が亡くなったことで、家業を継ぐことに。必然的に

将来が決まり、夢を諦めることに。

事故現場に居合わせた

通行人

交通規制による渋滞にはまり、就職希望先企業の面接試験に間に合わず。

事故から3年以上が経過した現在。事故現場には未だに

花が添えられている。

事故現場直近の

家の住人

故人への献花が絶えないため、自宅周辺の掃除をする度に、献花を見ては、被害者の霊が彷徨っているのではないかという思いに囚われ、うつ状態に。

交通事故の影響は、計り知

れません。

当事者だけの問題ではないの

です。

ちよつとした不注意やルール

無視が、とてつもなく悲しい不幸の鎖をつなぎ始めるのです。

トピックス

チリリン・タイムで交通ルールを学ぶ

県警では、人身交通事故総件数は年々減少しているが、自転車関連の交通事故の人身事故に占める割合（構成率）が逆に増加傾向にあることから、特に交通事故を減らす子ども向けの対策として、子どもが《交通ルールを守る。そのためには正しい交通ルールを知る。》ために、県教育委員会と検討・協議を重ね、短時間で実施できる自転車交通安全用教材「チリリン・タイム」（右写真）を作成し、これを県内の小・中・高校に毎月配信しホームルームなどで活用してもらうこととした。

チリリン・タイム（クイズ形式3～4問のA4用紙1枚）を元に、子どもの身近な存在である先生が対象の年齢に応じた解説をすることにより、小・中・高校とも同じ教材で学べる仕組みになっています。

川崎市セーフティサイクルフェアで自転車競技大会

去る5月12日（土）川崎市多摩区多摩スポーツセンターにおいて、川崎市交通安全対策協議会（会長 阿部孝夫）主催により第7回目のサイクルフェアが開催され、川崎市内の小学校から9チームが競技大会に出場しました。学科・安全走行・技能走行の各テストが行われ、麻生区の川崎市立岡上小学校が優勝、準優勝は中原区の川崎市立下小田中小学校という成績でした。

両校は、来たる7月7日（土）に開催される第43回交通安全子ども自転車神奈川県大会に出場する予定です。

なお、合わせて「ふれあい交通安全のつどい」が開催され、自転車シミュレーターを活用した自転車交通安全教室等を実施して、自転車利用者の交通ルールの遵守とマナーの向上を呼びかけました。



～賛助会員の紹介～

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次で紹介しています。

- (財) 神奈川県公園協会
- 藤沢市辻堂西海岸
- (株) サンエーサンクス
- 高座郡寒川町倉見
- 日本精工(株) 藤沢工場
- 藤沢市鵠沼神明
- さがみ信用金庫
- 小田原市本町
- 寒川神社
- 高座郡寒川町宮山



第5回理事会が開催されました

～平成23年度事業報告等を承認～



平成24年度第5回理事会が5月29日午後、県協会会館において開催されました。午前に正副会長会議が行われた後、石坂会長はじめ理事等21名出席の下、「平成23年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成23年度神奈川県交通安全協会決算報告」について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

旭日双光章を受章

県交通安全協会副会長 板橋 悟氏



～おめでとーいございます～

公益財団法人神奈川県交通安全協会副会長、財団法人横浜市交通安全協会会長、保土ヶ谷交通安全協会会長であり、まず板橋悟氏は、多年にわたる交通安全団体の育成及び交通安全思想の普及・高揚に尽力された功績が認められ、春の叙勲で旭日双光章を受章され、5月30日(水)勲

章伝達式、拝謁の行事に出席されました。板橋氏は会社経営等の傍ら、昭和63年に保土ヶ谷交通安全協会会長に就任して以来、24年の長期にわたり、同協会の運営に尽力するとともに、区のみならず県・市単位においても各種交通安全活動を積極的に推進し、県内の交通安全事故防止に多大な業績を上げています。特に、官民一体となった交通事故防止活動を行うため、寸暇を惜しまず警察署を訪れ、意欲的に管内の交通事故発生状況等の把握に努めるとともに、署員との交流を密にして警察署と交通関係団体との連絡調整に努めたほか、各季の交通安全運動期間中には、自ら率先して街頭での交通安全活動に従事し、新入学児童・園児による交通安全宣言や植樹を行うなど、工夫を凝らした活動により地域の交通事故防止に多大な貢献をされています。

自転車の豆知識

～自転車も めざせ! 「事故ゼロ」かながわ県 明るい笑顔 あなたの街から～



自転車の通行区分の原則 その2

自転車道がある道路は、どこを通行するの?

「普通自転車は、自転車道が設けられている道路では、その自転車道を通行しなければならない。」(道交法第63条の3抜粋)



川崎市渡田付近の自転車道

道交法の自転車道は、左の写真のように、車道の一部分を縁石線や柵などで区画したもので、自転車が通行するためのスペースを言います。自転車道の中では、左側通行となります。

じてんしゃ マナーアップ インかながわ

※「普通自転車は」と限定されていますので、普通自転車でないベロタクシー等は自転車道を使用せず、車道の左端を走るようになります。

道路の片側だけが自転車道になったら?

反対側に自転車道が設けてあるときはそちらに移り、中で左側通行します。



その242 港南交通安全協会から

港南交通安全協会(高森政雄会長)では、京浜急行上大岡駅前において飲酒運転根絶等のチラシやティッシュなどを配布しながらハンドルキーパー運動の実践、交通安全を呼びかけました。



ハンドルキーパー運動の紹介

その241 加賀町交通安全協会から

加賀町交通安全協会(杉島和三郎会長)では、県立歴史博物館裏広場から横浜公園まで交通安全パレードを行い、「ハンドルキーパー運動『飲酒運転根絶』」の幟旗を掲げ、チラシ等を配布しながら飲酒事故防止を呼びかけました。



その244 厚木警察署管内交通安全協会から

厚木警察署管内交通安全協会(石井廣好会長)では、ゴールデンウィークの初日、相模川、中津川の河原でバーベキューを楽しんでいる家族連れに飲酒運転の根絶、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その243 横須賀交通安全協会から

横須賀交通安全協会(外崎信一会長)では、ショッピングプラザ横須賀センターにおいて、「飲酒運転根絶」の幟旗を設置してチラシなどの啓発物を配布しながら、買い物客等にハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



運転免許試験場で運転練習ができます

免許を持っているが運転に自信のない方、仮免許・外国免許からの切り替え、限定解除等の技能試験を予定している方は、試験場で練習をどうぞ!



■ 練習できる日時

- 土曜、日曜及び祝日(年末年始等指定日を除く) ●午前8時から午後4時まで
- ※日時については変更する場合があります。

■ 練習できる車両

- 大型自動車(バス、トラック)、中型自動車(バス、トラック)、けん引自動車、普通自動車
- 持ち込み車は、バス、トラック、けん引自動車は補助ブレーキを備えたもので、普通自動車は長さ4.7メートル以下、幅1.7メートル以下のものに限りです。
- 貸車は、県交通安全協会が準備したものに限りです。

■ 練習できる方

- 新たに運転免許を取得しようとする方 ●免許所持者で運転技能向上のために練習しようとする方
- ※普通二種免許を除き、指導員(該当免許期間3年以上の者)の同乗、特に持ち込み車での練習は、指導員の同行が必要です。また、貸車での練習は、AT車を除き交通安全協会が指定した指導員(別料金)の同乗が必要です。

■ 練習料金(1時限50分単位)

- 車両を持ち込んでの練習
- ・普通自動車 3,500円
- 貸車での練習
- ・大型バス、大型トラック、けん引自動車8,500円・中型バス8,000円・中型トラック7,000円・普通自動車5,500円
- ※上記金額は、貸車両とコース使用料の合計です。神奈川県交通安全協会に入会されている方は、500円の割引があります。

■ 申し込み要領

- 予約制をとっていますので、練習を希望する前日までに電話又は直接窓口で予約してください。
- 予約開始日 2週間前 ●予約時間 午前9時から午後4時(年末年始の休日を除く)
- 予約電話 045-362-3468 ●予約窓口 自動車運転免許試験場1号館 公益財団法人 神奈川県交通安全協会





浦賀交通安全協会  
会長  
岡 昌憲さん  
おか まさのり

浦賀交通安全協会は、昭和23年4月1日に設立され、三浦半島の横須賀市南部、緑豊かな県立観音崎公園や美しい山と浦賀港・馬堀海岸・北下浦海岸など海に囲まれた風光明媚な地にあるとともに、日本の歴史上著名かつ貴重な史跡や建築物が多く点在する独特の伝統文化が継承されている地にあります。



歴史的にクローズアップされるのは、享保5年(1790年)徳川幕府が江戸湾に出入りする船の検査と海の防衛のため、下田から浦賀に奉行所を移し、幕末にいたり嘉永6年6月アメリカ合衆国ペリー提督が、黒船4隻を率

いて浦賀沖に姿を現したことにより、近代日本の開国の地となったことです。このような歴史ある町で平成8年から9年間、浦賀交通安全協会副会長を務めた後、平成17年6月から浦賀交通安全協会会長に就任し、活躍されている岡昌憲さんをご紹介します。

会長は、昭和19年に地元生まれ育ち、関東学院大学を卒業され、在学中は同大学のヨット部に在籍して大いに気力・体力の限界に挑戦したことと、後には、国体ヨット競技の神奈川県監督に就任されるなど生涯スポーツマニアであります。また、地元タクシー会社をはじめ、県内において4つの事業を経営するがため、横須賀ロータリークラブ、浦賀観光協会会長、横須賀商工会議所役員等多くの役職に就かれるなど日々多忙を極めており、まさに母校大学の校訓でもあります「人になれ奉仕せよ」のボランティア精神を実践し、精力的に活動されております。

会長の趣味は、読書と家族旅行、加えて人懐っこい愛犬(ゴールデンレトリバー)との散歩です。特に読書では、長年定宿として利用している東伊豆の宿で、ロッキングチェアに腰をかけ、日本史や東洋史に関する書物を熟読すること、を何物にも代え難い楽しみとしており、日常の忙しさを忘れさせる心地に浸れるとのこと。

浦賀管内の免許人口は11万2千人、鉄道駅は京浜急行線、JR線合わせて

10駅を数え、交通事故も多発する中で、浦賀警察署と緊密な連携を図りながら、交通事故発生予測箇所に赤色回転灯を設置するなど、地元町内に密着した交通安全活動を展開しています。特に毎年、新入学時期に合わせて「浦賀交通安全の集い」を開催しており、今年も来場者が1万人を超えるなど年々盛大になっており、地道ながらも地域に溶け込んでいく証左ではないかと思っております。4月には京都府において、学童の登校の列に車両が衝突するという悲しい事故が発生しており、ご遺族の心痛はいかばかりか計り知れないことに思いを馳せると、今後も新入学児童等の悲惨な事故を防ぐための活動を継続していくという決意を強くしたところでもあります。

会長の「好きな言葉」の一つであります「ミスを恐れるな、攻めよを旗幟鮮明にして、これからも警察など関係機関・団体と体となつて、市民の願い『生活道路を安心して歩ける街作り』を成し遂げていただきたいと思っております。取材協力：浦賀交通安全協会

イベントカレンダー

- 第43回交通安全子ども自転車神奈川県大会及び第1回交通安全高齢者自転車神奈川県大会  
7月7日(土) 横浜文化体育館
- 夏の交通事故防止運動  
(7月11日から20日まで)
- グッドライダーミーティング  
7月16日(月) 厚木中央自動車学校
- 表彰審査委員会  
7月30日(金) 県協会会館

こんにちは  
「横須賀交通安全協会」です

軍港都市、その後は基地の街として発展を遂げた横須賀。

その中心地区にある横須賀警察署管内を活動エリアとして、昭和15年に「横須賀交通報国会」という名称で発足したのが、横須賀交通安全協会です。

今、交通安全協会としてできることがもっとあるのではと、私たちは考えられています。

ニュースでは毎日のように無免許や、過労や、不安定な心理状態での運転がもたらした悲惨な交通事故や事件が報道されています。

これらを目の当たりにすると、現在の交通事故防止対策は既に制

度疲労を起こしているのではないかと疑問を持ちます。

今までは、被害者にならないための対策が中心でした。

一方で、普通の人が加害者になりうることに對する対策が十分とは言えなかったのではないかと思います。

そこで提案です。本誌「かながわの交通」に掲載されている「タイムマシンのあげたい」の連載記事は、交通事故の悲惨さが直に伝わってくる読み応えのある内容でした。

こういう交通犯罪を起こした人やその関係者らが裁判中に漏らした本音やつぶやきを読みやすく文章化して、もっと多くの一般の方々に読んでいただく啓発活動はできないかと考えています。

加えて、このような活動を可能にする時間を作り出すため、多くの時



間と神経を使う証紙販売を機械化するなど、業務の見直しができるころはないかとも考えています。

このように我々の活動が「会員になってくださる方々の期待に十分応えているか?」など、常に自問しながら、地域に少しでも貢献できることはないかと、みんなでワイワイ言いながら仕事をしている横須賀安協です。

(柱 記)



地区交通安全協会の活動紹介

～自転車マナーアップ運動～



**緑**  
警察署前の歩道において、通行中の自転車利用者に対して、チラシや啓発グッズを配布しながら自転車安全利用五則の周知、自転車事故防止を呼びかけました。

**神奈川**  
神奈川県内の交差点等交通危険箇所付近の信号柱等に「歩道は、歩行者優先」「自転車は、車道よりを徐行」と記したバナーを貼付し、自転車事故の防止対策を実施しました。



**田浦**  
県立追浜高校正門において、警察署、PTAと連携して、チラシ、幟旗等を活用して自転車通学する同校生徒に自転車の安全利用を呼びかけました。

**鎌倉**  
深沢高校において、チリンスクールを実施し、自転車点検要領、安全走行、マナーアップ等を指導したほか、大型バスの死角を体験させ交通安全意識の向上を図りました。



**秦野市**  
南が丘小学校において、4年生124名を対象にチリンスクールを実施し、交通ルール、マナー、点検要領等を指導してチリカを交付しました。

**三浦市**  
潮風アリーナで、14チームが参加して交通安全子ども自転車大会を開催し、自転車マナーアップ、安全な乗り方や交通事故防止のポイントを指導しました。



**津久井**  
三ヶ木交差点において、主に津久井高校生を対象として、リフレットや反射材を配布するなどにより自転車事故防止を呼びかけました。

**海老名市**  
東柏ヶ谷近隣公園前において、自転車利用者、通行人にチラシや啓発物を配布するなど自転車マナーアップキャンペーンを実施しました。



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

今年の桜は、例年になく遅咲きだった。  
春のきざしも遅く心も晴れ晴れとした気持ちになれない日々が続きましたが、ここに来て本来の季節に戻り神奈川県内の山々も緑に輝いてまいりました。  
公益財団法人になって2年目に入りました。「石の上にも3年」ということわざがありますが、公益性の高い事業を展開しながら社会にしっかりと認められる公益性を堅持して推進しているところです。  
さて、先月は「自転車のマナーアップ月間」を展開しましたが、自転車は誰もが手軽に使用できる便利な乗り物として運転免許証なしに子どもからお年寄りまで幅広く利用されてエコ対策からも急激に利用者が増加してきており、これに比例するかのよう自転車に関係する交通事故も多く発生してきており、また自転車を利用する人々のルール無視やマナーの悪さが指摘されてきております。

そのため、私たち交通安全協会では悲惨な「交通事故ゼロ」を目指して「交通安全運動を展開していかなくてはならない」と思っております。地区交通安全協会も自転車教室を通じて子ども達に交通ルールを教えており、将来に明るい兆しが見えてきていることも事実です。お互いに絆を深くして地道な活動を展開して行きましょう！

(T・T記)